

財務状況把握の結果概要（簡略版）

北海道財務局作成

（対象年度：令和2年度）

上砂川町

総合評価

債務償還能力

〔地方債等の債務の大きさと、その償還原資を確保する能力〕

資金繰り状況

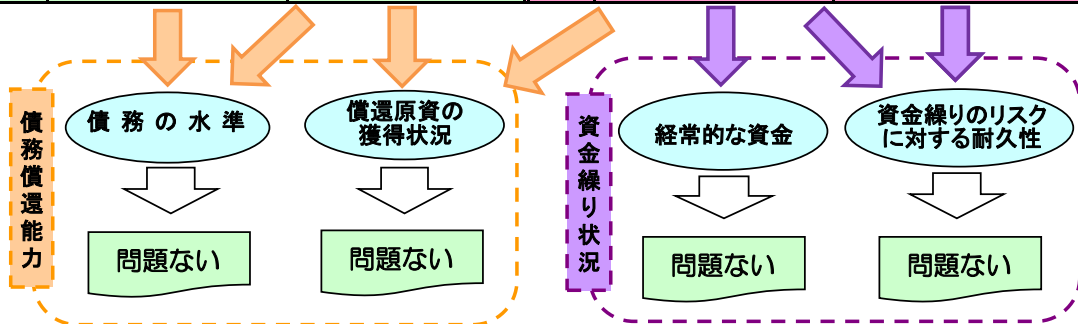
〔経常的な収支と積立金等の備えからの資金余裕状況〕

留意すべき状況にはないと考えられる

留意すべき状況にはないと考えられる

4つの財務指標結果

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕 ※二年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標	指標	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕 ※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
注意	24.0月		問題なし	14.0%	9.2月
やや注意	18.0月	15.0年	やや注意	10.0%	3.0月
問題なし	8.9月	5.2年	注意	0.0%	1.0月



今後の見通しと留意点等

○財政運営について

- 貴町の債務償還能力及び資金繰り状況は、診断対象年度の令和2年度において特段留意すべき状況にはないと考えられる。一方で、過年度の大規模な投資的事業に係る起債・基金取崩や急激な高齢化による扶助費等の負担増などにより、貴町の財務4指標は全て類似団体平均に劣後している状況である。
- 今後については、大規模事業の順次終了に伴い実質債務は減少を見込んでいるものの、人口減少による地方交付税等の減や高齢化による扶助費等の増により行政経常収支の減少が見込まれ、フロー面について悪化が懸念される。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金等の収入減も予想される。
- 今後はこれらのことに留意しながら、今まで以上に計画的かつ収支のバランスを意識した財政運営に取り組まれることを期待したい。

○医療・福祉について

- 貴町は平成25年から町立の福祉医療センター各施設を指定管理により運営することで、財政負担を町所有時の6,000万円以上からその10分の1程度にまで抑制している。また、現在貴町では医療機関・介護事業所との連携を図り、在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいる。
- また、乗り合いタクシーの令和3年度の年間利用者数は1,411人であり、令和6年度の目標値である480人を大幅に上回っている。これは町民の生活に資するため、便数や停留施設を増やした結果と考えられる。
- 貴町は老年人口割合が50%を超えているため、扶助費等の増に留意しながら、以上のような高齢者に対する医療・福祉事業を含めた施策を今後も継続していくことが望まれる。